公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育スタジオspark筑面		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童が楽しく通所できていること。	・共動・共感をすることで、児童と目線になり関わりを深めている。 ・児童が「やりたい」と思えることを、全力でできること。	・児童が飽きないように、遊びを工夫する。(遊び方や使う道具を変える等) ・児童のやりたい気持ちが増幅するように、療育士が感情豊かに関わりかける。
2	・職員の配置が適切であること。	・一人の児童に一人以上、療育士が担当している。 ・児童同士、意見の相違がある際は、お互いに対応ができる。	・児童の発達段階に応じて、配置数を検討する。 ・質の向上の為、定期的に研修を行い、対応できるようにする。
3	・保護者の方に、寄り添うことができること。	保護者の方からの相談、悩みに対して、時間を確保して相談、援助を心がけております。	・保護者の方や児童の様子をよく見て、表情等に変化があった時には、スタッフよりお伺いの声を掛けてるように致します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動のスペースを十分に確保ができにくいこと。	・平日の夕方時間帯は、特に予約が集中する時間帯の為、同時時間帯に複数児童をスタジオにて療育をしていること。	・発達段階の違いや体格の差を確認し、予約の受け入れを工夫致します。 ・追加予約の方については、フィールド療育限定にする等、スタジオ以外の場所の受け入れを検討致します。
2	・保護者同士の連携について	・保護者会等、他の保護者と関わる機会が少ない。関わりたいと思っても、保護者の方から他の保護者へ声を掛けることが難しい。	・テーマを決めて、保護者会の開催を検討致します。 同時時間帯に予約が入っている保護者の方と、お話ができるようにスタッフが仲介することを検討致します。
3	・地域との連携について	・地域の方と交流すること、地域との繋がりが少ない。 児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所であることが周知しきれていない。	社会福祉協議会に参加して、地域の方と交流の機会を作ります。 ・フィールド療育にて、近所の方と挨拶や交流をすることで、認知度を上げると共に、サービスの内容を知ってもらうように検討します。